

弘前市の食品ロス量



弘前市では、年間約 8,300 トン（推計値）の食品ロスが発生しています。これは、2 トン積載の収集車で換算すると、年間 4,150 台分、1 日当たり約 11 台分の食品ロスがごみとして捨てられていることになります。



市の食品ロス推計(R2年度)

食品ロスの削減のため、引き続き下記の取組にもご協力をお願いします。

市民の皆さんができる取組



3キリの実践

生ごみの重さの8割は水分と言われています。みんなで協力して生ごみの水キリをすることで、年間約 1,180 トンもの生ごみを減量することができます。

食材は必要な分だけ買ってムダなく活用！



使いキリ 食べキリ 水キリ

フードボックスの利用

家庭などで食べきれずに余っている食品を集め、地域の福祉関係団体などに寄付するフードボックス（食品収集箱）が市内各所に設置されています。



設置場所は
こちら

てまえどり

購入してすぐに食べるなら、陳列棚の手前にある期限の近い商品を買って「てまえどり」で、食品ロスの削減に貢献しましょう。市では市内スーパーマーケットなどにご協力いただき「てまえどり」の啓発活動を行っています。



キエー口等の活用

電力を使わずに土の力で生ごみを分解する消滅型生ごみ処理器「キエー口」や、たい肥化ができる埋め込み式の生ごみ処理容器の利用などで、生ごみを減量化することができます。



事業者の皆さんができる取組



さんまるいちまる 3010 運動の推進



会食や宴会時に開始から 30 分間とお開き前 10 分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らそうという取組です。

メガ・キエー口等の活用



事業者向けの消滅型生ごみ処理器「メガ・キエー口」の利用や、食品残さのたい肥化などによる食品リサイクルが生ごみの減量化につながります。

くらしの中のエコロがけ

デコ活のすすめ

市では、「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）に賛同し、脱炭素に向けた行動変容を推進していきます。

市民・事業者の皆さんもできることから「デコ活」に取り組んでみませんか。

■問い合わせ先 環境課廃棄物政策係（☎ 32-1969）

「デコ活」とは

CO₂を減らす脱炭素（Decarbonization）と、「環境に良いエコ（Eco）」「活動・生活」を組み合わせた新しい言葉です。

「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言しました！



市では令和 6 年 2 月に「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言しました。市民、事業者の皆さんとの協働により、2050 年までに二酸化炭素実質排出量ゼロを目指します。

みんなで実践！

デコ活 Action



- 衣** クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
- 移** できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
- 住** ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
- 買** はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
- 食** 地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
- 住** 宅配便は一度で受け取る

以上に限らず、暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献していくものは、**すべてデコ活アクション**です。

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの 10 年後(イメージ図)

